

AUTOMATICA 2014

ファイナルレポート

第 6 回 国際オートメーション・メカトロニクス専門見本市

2014 年 6 月 3 日～6 日

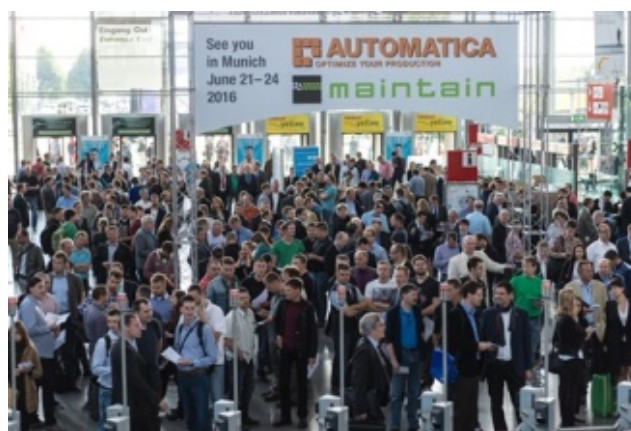
ドイツ・ミュンヘン国際見本市会場

2014 年 6 月 6 日

来場者、過去最高を記録 — AUTOMATICA 2014 各社、最先端製品を展示

Summary

- 世界 100 ヶ国以上から過去最高となる
およそ 34,500 人が来場
⇒32%が海外からの来場者
- 出展社数は、世界 42 ヶ国より 731 社
- 様々な産業で活躍するオートメーション技術・
ロボットの最先端が一堂に展示、
サービス・ロボティクスは活況を見せる



Facts & Data

会 期	2014 年 6 月 3 日(火)～6 日(金) 9 時～17 時
会 場	ドイツ・ミュンヘン国際見本市会場
主 催	ミュンヘン見本市会社 (Messe München GmbH)
後 援	ドイツ機械工業連盟 (VDMA) ロボット・オートメーション工業会
規 模	55,000 m ² (=全 5 ホール)
出 展 社 数	42 ヶ国から 731 社
来 場 者 数	100 ヶ国から 34,500 人
主 な 出 展 品	組立・操作技術、ロボット、マシンビジョン、ポジショニングシステム、駆動技術、センサ技術、制御システム技術、安全技術、サプライ技術、ソフトウェア、サービス、研究・技術開発 など
併 催 プ ロ グ ラ ム	AUTOMATICA フォーラム サービス ロボティクス デモンストレーションエリア&ショー ISR / Robotik 2014 - ドイツロボット会議 ICPC 2014 - 先端材料技術会議 など
同 時 開 催 メ ッ セ	intersolar EUROPE 20104 (ソーラー技術専門見本市・会議), maintain 2014 (国際保守・サービス専門見本市)
出 展 日 本 企 業 (現法出展など含む)	(株)アイエイアイ、川崎重工業(株)、黒田精工(株)、(株)クリエイティブテクノロジー、 (株)キーエンス、住友重機械工業株、セイコーエプソン(株)、(株)デンソーウェーブ、 東芝機械(株)、ナブテスコ(株)、日本トムソン(株)、(社)日本ロボット工業会 - JARA / 日刊 工業新聞社、パナソニックファクトリーソリューションズ(株)、パナソニック電工、 ファナック(株)、(株)不二越、(株)安川電機、ほか
専 用 U R L	www.automatica-munich.com (英語、ドイツ語)

来場者に 10%以上、出展社に 7%以上の増加を見せた AUTOMATICA 2014 は、大盛況のうちに幕を閉じた。同見本市マネージング・ディレクターである Reinhard Pfeiffer 氏は、「展示会規模の拡大、そして出展社、来場者の満足度が高い事は、AUTOMATICA が業界見本市として主導的役割を担っている事を明確に示している」と述べた。ドイツ機械工業連盟 (VDMA) ロボット・オートメーション工業会マネージング・ディレクター、Patrick Schwarzkopf 氏は、「AUTOMATICA は製造業における進化に対し、イノベーション・プラットフォームとして非常に重要な貢献をしている。製造業に関わる全世界の来場者が、未来がどのようなのかを AUTOMATICA で知ることになるだろう」と付け加えた。

●世界的に重要さを増すロボティクスとオートメーション

来場者の約 32%は海外から訪れており、今回 15%以上の増加となった。「AUTOMATICA のコンセプトである『OPTIMIZE YOUR PRODUCTION』は、全世界でブームとなっている」そう説明するのは、ドイツ機械工業連盟 (VDMA) ロボット・オートメーション工業会 CEO、Hans-Dieter Baumtrog 氏だ。

「製造業では、製品の品質、安全性、持続可能性で、統合アセンブリソリューション、ロボティクスなど産業機械に関する先見の明が成功の鍵である。拡大を続ける AUTOMATICA の国際化は、この分野における発展を明確に示している」

さらに、ドイツ連邦経済エネルギー省の Stefan Kapferer 事務次官は、「AUTOMATICA は、ロボティクスとオートメーションにおけるドイツの突出した立場を再び明らかにしてくれた」とコメントした。



●SPARC: 欧州ロボティクスに 28 億ユーロ

欧州基準では、業界の役割は非常に明確になってきている。欧州委員会副会長 Neelie Kroes 氏は AUTOMATICA 2014 で世界最大の民間ロボティクス推進プログラム SPARC を発表した。総額 28 億ユーロを利用して欧州の主導的な役割を拡大し、その結果として 24 万人以上の雇用を創出する予定だ。Kroes 氏は、「AUTOMATICA は、欧州における最新のロボット技術を紹介する絶好の機会だ」と強調した。

●人と機械が手を取り合う未来

ロボティクスとオートメーションは、人間と機械の役割を発展的な進化の中、新たな次元に達しようとしている。ロボットは単調な仕事、健康に有害な仕事、特別な職業スキルを必要としない仕事を人に代わって処理を行う。人間は上位の業務を行い、生産性に優れ、かつ人間工学的な柔軟な対応を持つ製造現場の実現を可能とする。AUTOMATICA では、多くの企業が様々な事例を挙げ、大きな可能性を示した。

●専門的サービス・ロボティクス、素晴らしいスタートを切る

市場性のあるサービス・ロボティクスは、多くの関心を集めた。医療、介護、点検整備、物流などの分野から集まった企業向けサービス・ロボティクスを専門とする 60 社以上の企業が、知能サービス・ロボットや部品における優れた可能性を示した。ベルリンを拠点とする企業、Argo Medical Technologies 社が、初の「サービス・ロボット・マスターズ・スタートアップ賞」を受賞した。受賞したのは同社開発の外骨格スーツで、対麻痺患者が再び歩けるようになる可能性を示すものだ。



●第 4 次産業革命への気運が高まる

第 4 次産業革命は、もはや長年温められてきた構想ではなくなった。見本市来場者は、フォーカストレンドである「インダストリー4.0」の具体的な効果について実演や専門家による講演から情報を集めていた。「ネットワーク化され、資源効率性が高く、さらに柔軟な事業形態を実現させることができるのは、インダストリー4.0 だけである。つまり、インダストリー4.0 の実

現が、私たちの将来を変えと言っても良いだろう」と Kapferer 氏は説明した。

●来場者、出展社ともに高評価

見本市では豊富な展示が会場を埋め尽くし、出展者と来場者から高評価を集めた。独立市場調査機関である TNS infratest によると、調査対象となった来場者の 97% が展示の完成度について、「極めて良い～良い」と判断し、95% が業界大手の存在感を賞賛した。出展企業からのフィードバックも同様に肯定的であった。調査対象企業の 95% が、見本市の雰囲気は「極めて良い～良い」と回答した。



次回 AUTOMATICA 2016 は、2016 年 6 月 21 日～24 日にドイツ・ミュンヘンにて開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.automatica-munich.com で

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：
メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階
Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)